

# 中日ニュース

シネスコ版

高知新聞ニュース No. 351  
新報叢新聞ニュース No. 180  
中国新聞ニュース No. 193

38.12.13

No. 517

日本一九六三年

## 一、太平ムードの

ウラ・おもて

一九六三年は池田さんの「人づくり」演説と共に始まりました。

しかし新春そうそうもち上ったのはサリドマイド騒動。手足の満足でない赤ちゃんが生まれるとあっては池田さんも「人づくり」どころではありません。

この事件では製薬会社の責任もさることながら、なにかといえは新薬に頼りたがる大人たちこそ問題です。

そして植木等の「無責任節」こそすたれましたが、無責任を地で行くような都知事選での選挙違反。

そしてこのような無責任な精神風土の中から凶悪犯罪が続出。吉原ちゃん事件をはじめとする多くの誘拐事件には世の親たちもふるえあがりました。

一方景気後退の伝えられる中で設備投資だけは一向におとろえず、今年約四兆円が予想されています。

かくしていくつかの平凡な田舎町が工業都市への途を歩みはじめました。しかし大工場が動きはじめると、はやくも媒煙を中心とした公害が発生。安易なる工業化へ赤信号となつたのです。

雪国は今年も豪雪に襲われ約一カ月もの間すべての機能が停止するなど日のあたる都会地とは増々差がつけられるばかり。

こうした中で十一月九日魔の土曜日を迎えたのです。

直接の原因はともかく本質的には高度成長を世界に誇った日本経済に大きなゆがみがあったということです。

奇しくも事故の日から一カ月目の十二月九日から発足した第三次池田内閣。来年こそ日本の経済がもつゆがみの是正へ思い切った施策が期待されます。

6200R